

(様式7)

事業計画書目次

[栄区]

3款 2項 1目 自主企画事業費

(単位：千円)

計画書頁	事業名	令和5年度		令和4年度		増△減(5-4)		新規・拡充
		総額	一財+市債	総額	一財+市債	総額	一財+市債	
1	人材育成・業務改善推進事業	1,277	1,277	1,327	1,327	△ 50	△ 50	
2	庁舎環境整備事業	4,900	4,900	3,804	3,804	1,096	1,096	○
3	栄区役所おもてなし事業	1,084	1,084	730	730	354	354	
4	さかえのそなえ・危機対応力強化事業	7,760	7,760	9,497	9,497	△ 1,737	△ 1,737	○
5	さかえのそなえ・地域防災力強化事業	4,430	4,430	4,880	4,880	△ 450	△ 450	
6	さかえ・地域支援事業	1,642	1,642	3,195	3,195	△ 1,553	△ 1,553	
7	花と森と川のまち推進事業	8,267	8,242	6,972	6,942	1,295	1,300	○
8	セーフコミュニティ事業	2,365	2,365	5,330	5,330	△ 2,965	△ 2,965	
9	まちづくり推進事業	4,487	4,270	14,333	13,642	△ 9,846	△ 9,372	
10	さかえ魅力広報事業	5,770	5,104	2,220	1,584	3,550	3,520	○
11	自治会・町内会活動推進事業	1,773	1,773	1,773	1,773	0	0	
12	地域の安全対策事業	2,949	2,949	2,547	2,547	402	402	○
13	資源化推進事業	447	447	447	447	0	0	
14	地域の賑わい創出事業	5,831	5,831	5,661	5,661	170	170	○
15	商業活性化推進事業	1,210	1,210	1,380	1,380	△ 170	△ 170	
16	文化・芸術振興事業	4,686	4,586	4,081	3,981	605	605	○
17	スポーツ振興事業	3,380	3,380	3,680	3,680	△ 300	△ 300	
18	地域の担い手育成・交流支援事業	5,606	5,606	4,133	4,133	1,473	1,473	○

(様式7)

事業計画書目次

[栄区]

3款 2項 1目 自主企画事業費

(単位：千円)

計画書頁	事業名	令和5年度		令和4年度		増△減(5-4)		新規・拡充
		総額	一財+市債	総額	一財+市債	総額	一財+市債	
19	窓口混雑緩和に向けた区民サービス向上事業	2,365	2,250	2,586	2,471	△ 221	△ 221	
20	地域福祉保健計画推進事業	3,593	3,593	2,031	2,031	1,562	1,562	○
21	健康づくりの推進事業	680	680	1,173	1,173	△ 493	△ 493	
22	食育推進事業	4,783	4,783	1,881	1,881	2,902	2,902	○
23	健康で安全な食と暮らしの推進事業	325	325	1,143	1,143	△ 818	△ 818	
24	動物適正飼育推進事業	915	915	0	0	915	915	
25	次世代交流ステーション運営事業	12,576	4,501	10,826	2,751	1,750	1,750	○
26	高齢者地域ケア事業	1,137	1,137	1,274	1,274	△ 137	△ 137	
27	高齢者のICT利活用推進事業	450	450	450	450	0	0	
28	障害児・者ふれあい交流事業	1,385	1,385	1,405	1,405	△ 20	△ 20	
29	出産・子育て応援事業	1,991	1,991	1,863	1,863	128	128	○
30	育児サポート推進事業	642	642	1,001	1,001	△ 359	△ 359	
31	こども・青少年応援事業	1,058	1,058	1,058	1,058	0	0	
32	幼保による地域子育て支援事業	3,343	3,339	715	710	2,628	2,629	○
33	生活支援推進事業	200	200	377	377	△ 177	△ 177	
	計	103,307	94,105	103,773	94,121	△ 466	△ 16	

事業区課	栄区	総務課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	区役所総務費					
歳出予算科目	一般会計	3	款	2	項	1	目
事業名称	人材育成・業務改善推進事業			政策番号	政策指標	施策番号	施策指標

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源	
令和5年度	1,277	0	0	0		1,277	
令和4年度	1,327	0	0	0		1,327	
増△減	△50	0	0	0	0	△50	

歳出	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費	1,216	1,610	1,342	1,277	1,277	1,277
市債+一般財源	1,216	1,610	1,342	1,277	1,277	1,277
決算	1,040	616	302			
市債+一般財源	1,040	616	302			

事業概要	職員の人材育成研修の実施及び業務改善推進により、区民に信頼される区役所づくりを目指します。							
事業開始年度	平成6年度							
根拠法令・方針決裁等	「横浜市区役所窓口サービス標準」「栄区運営方針」「横浜市人材育成ビジョン」「栄区改革推進委員会設置要綱」							
運営方針等との関連	令和4年度栄区運営方針 III目標達成に向けた組織運営「職員力・チーム力を高める」							
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性)	<p>①窓口サービスの向上については、近年、新型コロナウイルス感染症の影響の中で、マスク着用での対応、アクリル版の設置及び案内時間の短縮の工夫等、これまでとは異なる視点が必要となっています。また、近年、職員や職場のつながりづくりを図る機会が少なくなっている状況ですが、組織の活性化を図ることで、職場の抱える個々の課題について、区全体のチーム力を持って解決していく必要があります。</p> <p>②栄区では、自ら考え行動し、区民の皆様の視点に立ったおもてなしの行政サービスを提供できる区役所づくりを目指しています。職員の能力の向上を目指した人材育成の取組や、継続的な業務改善を実施することで、正確・迅速な事務処理と親切・丁寧な窓口の運営を通じてお客様の満足度の向上及び組織力の向上につなげます。</p>							
根拠・データ等	<p><窓口サービス満足度調査> 「窓口サービスの全体的な印象」での「満足」「やや満足」の割合 平成28年度：98% 平成29年度：100% 平成30年度：99% 令和元年度：98% 令和2年度：調査未実施 令和3年度：調査未実施</p>							
事業指標	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
窓口サービス満足度調査「満足」「やや満足」の割合	単位	目標	100	100	100	100	100	100
	%	実績	未実施	未実施				
事業スケジュール	平成24年度：改革推進委員会事業開始 平成29年度：「栄区役所スマイルガイド」改訂							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		5年度	4年度	差引(増減)	増減説明
	①	栄区人材育成研修事業	1,056	1,106	▲50	公会堂改修完了による会場借上費用の減
	②	改革推進委員会	221	221	0	
細事業合計			1,277	1,327	▲50	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	庶務	係
	伏見 和久	杉田 和成	中山 容子	

事業区課	栄区	総務課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	区役所総務費	1	目	枝番号	前年度事業名称	
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項			政策番号	
事業名称	庁舎環境整備事業					政策指標	
						施策番号	
						施策指標	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源	
令和5年度	4,900	0	0	0		4,900	
令和4年度	3,804	0	0	0		3,804	
増△減	1,096	0	0	0	0	1,096	

歳出	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予 算 事業費	3,000	3,000	3,000	3,844	3,844	3,844
市債+一般財源	3,000	3,000	3,000	3,844	3,844	3,844
決 算 事業費	9,910	8,889	13,605			
市債+一般財源	9,910	8,889	13,605			

事業概要	利用者が安全・安心で快適にご利用いただけるよう、区庁舎の改修等を実施します。また、区民サービスの向上及び行政事務の効率化のため、来庁者と職員のICT利用環境を整備します。							
事業開始年度	平成6年度							
根拠法令・方針決裁等	横浜市庁舎管理規則							
運営方針等との関連	令和4年度栄区運営方針 施策4 地域に寄り添う区役所							
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性)	栄区庁舎は本館（昭和61年竣工）と新館（平成7年竣工）からなり、ともに老朽化が進行しています。また本館・新館それぞれに役割があり、利用者のニーズも様々です。本事業では利用者のニーズや栄区改革推進委員会からの提言を受け止め、時代の変化にあっさまめ細やかな環境整備を実施することで、利用者が安全・安心で快適に利用できるようになることを目的とします。							
根拠・データ等	本館…昭和61年竣工 新館…平成7年竣工 保健所としても使用							
事業指標	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
窓口サービス満足度調査の庁舎環境に対する質問における「満足」「やや満足」の割合	単位	目標	100	100	100	100	100	100
	%	実績	未実施	未実施				
事業スケジュール	平成6年度：庁舎改善事業開始 令和4年度：ICT利活用推進事業開始							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		5年度	4年度	差引(増減)	増減説明
	①	庁舎改善事業	3,000	3,000	0	
	②	ICT利活用推進事業	1,900	804	1,096	無線LANエリア拡大に伴う設置経費の増
細事業合計		4,900	3,804	1,096		

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	伏見 和久	係長	天住 仁	予算調整	係	中山 智貴
--------------------	----	-------	----	------	------	---	-------

事業区課	栄区	総務課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	区役所総務費				
歳出予算科目	一般会計	3 款 2 項	1 目	枝番号	前年度事業名称	
事業名称	栄区役所おもてなし事業			政策番号	政策指標	施策番号 施策指標

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和5年度	1,084	0	0	0		1,084
令和4年度	730	0	0	0		730
増△減	354	0	0	0	0	354

歳出	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算 事業費	1,400	950	1,290	730	1,011	730
市債+一般財源	1,400	950	1,290	730	1,011	730
決算 事業費	1,184	808	1,300			
市債+一般財源	1,184	808	1,300			

事業概要	身近で信頼される区役所を目指し、区民の満足度向上につながる取組を実施します。							
事業開始年度	平成6年度							
根拠法令・方針決裁等	令和4年度栄区運営方針 III目標達成に向けた組織運営「区民の皆様の信頼に応える」							
運営方針等との関連	令和4年度栄区運営方針 III目標達成に向けた組織運営「区民の皆様の信頼に応える」							
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性)	栄区では、区民の皆様の視点に立ち、気持ちに寄り添う親切的な行政サービスを提供できる区役所づくりを目指しています。栄区を知っていただくための統計冊子の作成、出生届及び婚姻届を提出した方への記念品贈呈、小中高等学校への選挙啓発などを通して、栄区への愛着を醸成するとともに区民満足度の向上につなげます。							
根拠・データ等	<栄区内投票率> 令和3年執行横浜市長選挙投票率：52.22%（令和3年8月22日執行） 第49回衆議院議員総選挙投票率：60.19%（令和3年10月31日執行） 第26回参議院議員通常選挙投票率：58.52%（令和4年7月10日執行） <窓口サービス満足度調査> 「窓口サービスの全体的な印象」での「満足」「やや満足」の割合 平成28年度：98% 平成29年度：100% 平成30年度：99% 令和元年度：98% 令和2年度、令和3年度：調査未実施							
事業指標	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
栄区投票率の向上 (複数の選挙が執行された年度は、高い方を記載)	単位	目標	65	65	65	65	65	65
	%	実績	-	60.19				
窓口サービス満足度調査「満足」「やや満足」の割合	単位	目標	100	100	100	100	100	100
	%	実績	未実施	未実施				
事業スケジュール	<明るい選挙啓発事業> 平成6年度：自主企画事業として事業開始 <出生・婚姻記念品配付> 平成17年度：出生記念品配付開始 平成27年度：区内の福祉作業所に発注開始 令和元年度：婚姻記念品配付開始 平成28年度：「SAKAE早わかりノート」に名称変更 令和5年度：「データでみる栄区」に名称変更							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	5年度	4年度	差引(増減)	増減説明
	①	明るい選挙啓発事業	230	230	0
②	出生・婚姻祝い事業	405	500	▲ 95	事業内容見直しによる減
③	データでみる栄区	449	0	449	隔年事業のため
細事業合計		1,084	730	354	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	統計選挙係
	伏見 和久	須藤 大路	矢井田 慎

事業区課	栄区	総務課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	防犯・防災・安全対策費	1	目	枝番号	前年度事業名称	
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項				
事業名称	さかえのそなえ・危機対応力強化事業			政策番号	政策指標	施策番号	施策指標

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和5年度	7,760	0	0	0		7,760
令和4年度	9,497	0	0	0		9,497
増△減	△ 1,737	0	0	0	0	△ 1,737

歳出	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費	4,542	10,618	10,753	10,000	10,000	10,000
市債＋一般財源	4,542	10,618	10,753	10,000	10,000	10,000
事業費	6,294	28,074	15,989			
市債＋一般財源	6,294	28,074	15,989			

事業概要	区災害対策本部機能の強化、災害時医療提供体制の強化などの取組を推進し、栄区の危機対応力の強化を図ります。							
事業開始年度	平成8年度							
根拠法令・方針決裁等	災害対策基本法、横浜市危機管理指針、横浜市震災対策条例、横浜市災害対策本部条例、横浜市防災計画、横浜市緊急事態等対処計画、横浜市国民保護計画							
運営方針等との関連	令和4年度栄区運営方針 施策3 防災力・減災力の強化							
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性)	<p>地震や風水害をはじめとした災害、そのほか緊急事態の危機から区民の安心・安全を確保するためには、平時から危機発生を予防し、危機発生後は迅速で的確な災害対応が行える危機管理体制を構築する必要があります。特に近年、災害は激甚化、複雑化しており、大型台風やゲリラ豪雨によるいち川と柏尾川への水害対策のほか、大地震や感染症対策への継続的な対策が必要となります。</p> <p>また、区民に対して、発災初期から継続して医療を提供するためには、区役所と医療関係機関(医師会、歯科医師会、薬剤師会、Yナース等)が連携を図る日頃からの体制づくりが必要です。</p> <p>本事業は、区本部の機能強化をはじめとした「公助」の取組により、栄区の危機管理対応力の向上を図ることを目的としています。</p>							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> ・1時間降水量50mm以上の大雨の年間発生回数(全国)【気象庁観測データ】 <10年間平均発生回数> 1976年～1985年：226回 2011年～2020年：334回 →30年あまりで1.5倍に増加 ・その他 横浜市地震被害想定 							
事業指標	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
栄区区民意識調査(避難所の認知)	単位	目標	90.0	-	-	95.0	-	-
	%	実績	-	86.7				
事業スケジュール	<p>令和2年度：栄区避難場所マップ(風水害編)全戸配布、防災スピーカー出力アップ及び河川水位警告灯設置(4箇所)</p> <p>令和3年度：栄区避難場所マップ(風水害編)更新及び全戸配布、防災スピーカー新規設置及び出力アップ・河川水位警告灯設置(各1箇所)</p> <p>令和4年度：防災スピーカー新規設置及び河川水位警告灯設置(1箇所)</p> <p>令和5年度：防災マップ更新</p>							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		5年度	4年度	差引(増減)	増減説明
	①	災害時情報伝達の強化	3,249	6,958	▲ 3,709	防災スピーカー設置完了による減
	②	区本部機能の強化	4,142	2,165	1,977	新規車両リース契約などによる増
	③	災害時医療提供体制の強化	369	374	▲ 5	必要物品の精査による減
細事業合計			7,760	9,497	▲ 1,737	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	庶務
	伏見 和久	武内 秀幸	市野 耕平

Table with columns: 事業区課, 栄区, 総務課, 新規拡充, 事業評価書番号, 該当なし, 予算区分, 歳出予算科目, 事業名称.

(単位: 千円)

Table with columns: 区分, 金額, 財源内訳 (国, 県, 諸収入), 一般財源等 (市債, 一般財源).

Table with columns: 歳出, 令和元年度, 令和2年度, 令和3年度, 令和6年度, 令和7年度, 令和8年度.

Main project summary table with sections: 事業概要, 事業開始年度, 根拠法令・方針決裁等, 運営方針等との関連, ①背景・課題の分析, ②事業目的・効果, 根拠・データ等, 事業指標, 事業スケジュール.

(単位: 千円)

Table with columns: 細事業名称, 5年度, 4年度, 差引(増減), 増減説明.

Table with columns: 課長, 係長, 本資料は、公正・適正に作成しました., 伏見 和久, 武内 秀幸, 庶務 市野 耕平.

事業区課	栄区	区政推進課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	地域コミュニティ費	1	目	枝番号	前年度事業名称	
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項				
事業名称	さかえ・地域支援事業			政策番号	政策指標	施策番号	施策指標

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和5年度	1,642					1,642
令和4年度	3,195					3,195
増△減	△ 1,553	0	0	0	0	△ 1,553

歳出	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予 算	0	2,300	4,778	2,132	2,132	2,132
市債＋一般財源	0	2,300	4,778	2,132	2,132	2,132
決 算	0	1,722	1,019			
市債＋一般財源	0	1,722	1,019			

事業概要	幅広い分野の地域課題に取り組む活動のきっかけづくりや、地域の様々な主体による地域の課題解決・魅力づくりに繋がるように支援します。また、地域、中間支援組織、区役所等が多様な地域課題の解決に向けた手法や、安定的・発展的な地域運営について学び合う機会を設けます。								
事業開始年度	令和2年度								
根拠法令・方針決裁等	横浜市市民協働条例、横浜市補助金等の交付に関する規則、栄区みんなが主役のまちづくり協働推進事業補助金交付要綱								
運営方針等との関連	令和4年度栄区運営方針 施策1 まちの魅力づくり								
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性)	栄区は地域活動が盛んで、地域の課題解決に対して住民が主体的に取り組もうとする意識が高い地域ですが、高齢化率は市内でも高く、地域活動の担い手不足との意見が多くあります。一方で、令和2年度にセカンドキャリア支援事業として、40代以上の区民に行ったアンケートでは、7割強の方が自由に使える時間があるという回答がありました。そのため、地域の課題解決に対して住民が主体的に取り組もうとする土壌を守るには、今まで地域活動を行っていない区民が地域活動を始めるためのきっかけづくりや、地域で活動を新たに始める区民や既に活動をしている区民への助成及び区民・団体同士の関係づくりの場の提供など、幅広い支援を継続する必要があります。併せて、地域だけでなく、区役所や中間支援組織等が地域課題の解決に向けた様々な手法や、安定的・発展的な地域運営について学ぶ必要があります。								
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> 補助金交付団体（市民局区配予算、補助期間最大3年間） <ul style="list-style-type: none"> <実績推移>平成27年度18事業、平成28年度21事業、平成29年度14事業、平成30年度17事業 令和元年度17事業、令和2年度11事業、令和3年度12事業、令和4年度16事業（見込） 平成27年度から令和3年度までに本補助金を活用した合計65事業のうち、43事業が現在も活動を継続しており、主体的な活動の立ち上げ・拡充支援のために本補助金が有効に活用され、地域活動の活性化や活力維持に寄与しています。 【セカンドキャリア支援事業アンケート調査結果（回答者数：902人※40代以上の栄区在住の方 1,500人対象）】 「自由に使える時間」十分にある：39.6%、ややある：31.9%、あまりない：21.7%、まったくない：2.9%、無回答：3.9% 【区民意識調査アンケート調査結果（平成29年度、令和元年度、令和3年度）】 「あなたはどのような地域活動に参加していますか」に対して、「参加していない」と回答した割合 平成29年度：32.4% 令和元年度：35.7% 令和3年度：36.8% 								
事業指標	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	
補助金活用後の活動継続団体（平成27年～累積）	単位	目標	22	33	31	36	42	48	54
	事業	実績	30	30					
地域支援への意欲の向上	単位	目標	-	-	-	80	83	86	89
	%	実績	-	-	-				
事業スケジュール	平成23年度 市民局元気な地域づくり推進事業にて予算計上（みんなが主役のまちづくり協働推進事業） 令和3年度 みんなが主役のまちづくり協働推進事業補助金について、区づくり推進費への移行検討 令和4年度 地域づくりキャンパス、地域支援研修について、区づくり推進費への移行検討								

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	5年度	4年度	差引(増減)	増減説明
	① みんなが主役のまちづくり協働推進事業	1,096	1,720	▲ 624	令和4年度実績に伴う新規申請団体数の積算の見直しによる減
	② 区民のつながりづくり支援事業	0	1,475	▲ 1,475	事業見直しによる減
	③ 地域の学び場事業	546	0	546	地域支援に関する研修実施による増
	細事業合計	1,642	3,195	▲ 1,553	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	企画調整 係
	大野 豊	石塚 学	村山 紗英

Table with 7 columns: 事業区課, 栄区, 区政推進課, 新規拡充, 事業評価書番号, 該当なし, 歳出予算科目, 一般会計, 3, 2, 1, 枝番号, 前年度事業名称, 事業名称, 花と森と川のまち推進事業, 政策番号, 政策指標, 施策番号, 施策指標

(単位: 千円)

Table with 7 columns: 区分, 金額, 財源内訳 (国, 県, 諸収入), 一般財源等 (市債, 一般財源). Rows for 令和5年度, 令和4年度, 増△減.

Table with 7 columns: 歳出, 令和元年度, 令和2年度, 令和3年度, 令和6年度, 令和7年度, 令和8年度. Rows for 事業費, 市債+一般財源.

Main project details table with 2 columns: 事業概要, 事業開始年度, 根拠法令・方針決裁等, 運営方針等との関連, ①背景・課題の分析, ②事業目的・効果, 根拠・データ等, 事業指標, 事業スケジュール.

(単位: 千円)

Table with 5 columns: 細事業名称, 5年度, 4年度, 差引(増減), 増減説明. Rows for 花いっぱい魅力づくり事業, 愛護会活動支援事業, さかえの食と農を育む事業, さかえ・森の魅力づくり推進事業, 細事業合計.

Table with 4 columns: 本資料は、公正・適正に作成しました。 課長 大野 豊 係長 山口 裕司 企画調整 係 田島 裕之

Table with 7 columns: 事業区課, 栄区, 区政推進課, 新規拡充, 新規, 拡充, 事業評価書番号, 該当なし. Includes rows for 予算区分, 歳出予算科目, and 事業名称.

(単位: 千円)

Table with 7 columns: 区分, 金額, 国, 県, 諸収入, 市債, 一般財源. Rows for 令和5年度, 令和4年度, and 増△減.

Table with 7 columns: 歳出, 令和元年度, 令和2年度, 令和3年度, 令和6年度, 令和7年度, 令和8年度. Rows for 事業費 and 市債+一般財源.

Main project details table with 2 columns: 事業概要, 事業開始年度, 根拠法令・方針決裁等, 運営方針等との関連, ①背景・課題の分析, ②事業目的・効果, 根拠・データ等, 事業指標, 事業スケジュール.

(単位: 千円)

Table with 5 columns: 細事業名称, 5年度, 4年度, 差引(増減), 増減説明. Rows for ①セーフコミュニティの取組, ②フォーラムの開催, ③安全・安心なまちづくりプロモーション, ④セーフコミュニティの後継の仕組み検討, and 細事業合計.

Table with 4 columns: 本資料は、公正・適正に作成しました。 (課長 大野 豊), (係長 石塚 学), 企画調整 (係 安井 美樹).

事業区課 栄区 区政推進課 新規拡充 □ 新規 □ 拡充 事業評価書番号 該当なし

(単位：千円)

区分 金額 財源内訳 一般財源等

歳出 令和元年度 令和2年度 令和3年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度

事業概要 事業開始年度 根拠法令・方針決裁等 運営方針等との関連 ①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性) 根拠・データ等 事業指標 事業スケジュール

(単位：千円)

細事業名称 5年度 4年度 差引(増減) 増減説明

細事業 (事業内訳)	③	公共施設等の新設・改廃に伴うまちづくりの検討	0	60	▲ 60	事業統合による減
	④	生活道路における交通事故の未然防止事業	800	1,030	▲ 230	民間との共創により事業を進めるため
	⑤	本郷台駅前上屋等の維持管理	335	5,133	▲ 4,798	設備撤去が終了したことによる減
	⑥	地域交通利便性向上事業	0	1,720	▲ 1,720	バス事業者との調整による減
	⑦	野七里階段の利便性向上事業	0	1,000	▲ 1,000	事業完了のため
	⑧	温暖化対策事業	330	570	▲ 240	再エネ電気切替キャンペーンの 프로모ーションの見直しによる減
	⑨	区づくり連絡調整費	1,000	1,000	0	
	細事業合計		4,487	14,333	▲ 9,846	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	企画調整係
	大野 豊	清水 智仁	森 春香

事業区課	栄区	区政推進課		新規拡充	□ 新規 ■ 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	広聴広報相談費		1	目	枝番号	
歳出予算科目	一般会計	3	款	2	項		前年度事業名称
事業名称	さかえ魅力広報事業			政策番号		政策指標	実施番号 実施指標

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和5年度	5,770	0	0	666		5,104
令和4年度	2,220	0	0	636		1,584
増△減	3,550	0	0	30	0	3,520

歳出	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和6年度			令和7年度			令和8年度		
	事業費	3,708			2,291			5,615			2,200			5,200			2,200	
市債+一般財源	3,708			2,075			4,979			2,000			5,000			2,000		
決算	3,425			1,916			4,368											
市債+一般財源	3,232			1,700			3,792											

事業概要	区民をはじめ広く栄区の魅力等を発信するとともに「必要な情報が確実に区民に届く広報」を目指し、各種広報媒体を通じた広報を進めます。								
事業開始年度	平成6年度								
根拠法令・方針決裁等	タッチーくんデザイン取扱要綱								
運営方針等との関連	令和4年度栄区運営方針 施策1 まちの魅力づくり								
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性)	<p>区民をはじめ多くの方に栄区の魅力等を発信し、必要な情報を確実に区民に届けることで、栄区のイメージアップにつなげるとともに、区民からの信頼度向上を目指します。</p> <p>また、いたち川マススコットキャラクター「タッチーくん」について、区民に対して親しみやすい広報とするためや区民に対する愛着形成ツールとして、また区外に向けては栄区を知ってもらうきっかけを作るため、それぞれ事業を展開していきます。</p> <p>また、区民が求める情報を確実に区民に届け、区の魅力を内外に伝える広報とするため、外部講師による研修を複数回実施し職員のスキルアップを図る等、広報を十分に活用できるよう努めます。</p> <p>区民生活マップについては、転入者等が区の概要を把握して生活しやすくなること、また区民が区内の公共施設等を訪問しやすくし、日常生活における利便性を向上することを目的として作成し、毎年更新して最新の情報を掲載します。</p> <p>さらに区民の多くの声を集めるため、そして区民の意識を確認していくため区民意識調査を隔年で実施し、区の事業に反映させていきます。</p>								
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> ・区民生活マップ発行部数 H26…10,000部 H29…10,000部 R元…10,000部 R3…7,000部 ・区民意識調査(回答実績推移) H29 1,393人 R元 1,398人 R3 1,481(調査3,000人) ・区民意識調査(栄区への愛着度合推移) H29 67.3% R元 68.7% R3 70.6% (感じている・やや感じているの合計) 								
事業指標	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	
区民の愛着意向	単位	目標	-	70.0	-	72.0	-	72.0	-
	%	実績	-	70.6	-	-	-	-	-
事業スケジュール	平成6年度 区民意識調査開始 平成17年度 「タッチーくん」キャラクター名決定、活用開始 平成28年度 タッチーくん魅力発信事業開始								

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		5年度	4年度	差引(増減)	増減説明
	①	タッチーくん魅力向上事業	1,420	1,220	200	事業拡充による増
②	区民生活マップ作成事業	1,150	900	250	デザインの変更を行うことによる増	
③	区民に伝わる広報事業	400	100	300	事業拡充による増	
④	区民意識調査	2,800	0	2,800	隔年実施による増	
細事業合計		5,770	2,220	3,550		

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	広報相談係
	大野 豊	鶴岡 慎二郎	白澤 佳奈

事業区課	栄区	地域振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	地域コミュニティ費	1	目	枝番号	前年度事業名称	
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項				
事業名称	自治会・町内会活動推進事業			政策番号	政策指標	施策番号	施策指標

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源	
令和5年度	1,773					1,773	
令和4年度	1,773					1,773	
増△減	0	0	0	0	0	0	

歳出	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予 算 事業費	2,043	1,760	1,773	1,773	1,773	1,773
市債＋一般財源	2,043	1,760	1,773	1,773	1,773	1,773
決 算 事業費	1,563	1,103	1,075			
市債＋一般財源	1,563	1,103	1,075			

事業概要	住民組織の代表である自治会・町内会長の日頃の活動に感謝の意を表する機会を創出する等により、地域の課題解決を行う住民自治のかなめである自治会・町内会の活動のより一層の推進を支援します。							
事業開始年度	平成6年度							
根拠法令・方針決裁等	栄区自治会町内会長永年在職者表彰要綱							
運営方針等との関連	令和4年度栄区運営方針 施策2 みんなが支えあい・助けあい、安心を感じるまちづくり							
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性)	住民組織の代表として地域の環境整備・福利厚生等に取り組み、地域社会の発展に大きく貢献している自治会・町内会は、地域の福祉向上等の担い手として非常に重要です。そこで、表彰の機会を通じて、自治会・町内会長の日頃の活動への感謝の意を表するとともに、今後一層の地域への貢献を依頼することを目的とします。また、住民組織の代表として活動している自治会・町内会に掲示・回覧を依頼します。区連会に合わせて行政情報等を配送することにより、よりきめ細やかに情報を共有します。							
根拠・データ等	区内連合町内会数 7連合 区内自治会町内会数 88団体							
事業指標	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
自治会・町内会加入率	単位	目標	80.7	80.7	80.7	80.7	80.7	80.7
	%	実績	80.7	77.6				
事業スケジュール	昭和61年度 栄区連合町内会発足							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		5年度	4年度	差引(増減)	増減説明
	①	自治会・町内会長感謝会開催事業	474	474	0	
	②	自治会・町内会への回覧物等配送事業	1,299	1,299	0	
細事業合計			1,773	1,773	0	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	近堂 次郎	野本 智英	鵜池 健太郎

事業区課	栄区	地域振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	防犯・防災・安全対策費	新規	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>		
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目	枝番号	前年度事業名称	
事業名称	地域の安全対策事業			政策番号	政策指標	施策番号	施策指標

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源等	
		国	県	諸収入		市債	一般財源
令和5年度	2,949						2,949
令和4年度	2,547						2,547
増△減	402	0	0	0	0	0	402

歳出	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予 算	2,716	3,189	2,699	2,949	2,949	2,949
市債＋一般財源	2,716	3,189	2,699	2,949	2,949	2,949
決 算	2,528	3,317	2,469			
市債＋一般財源	2,528	3,317	2,469			

事業概要	特殊詐欺被害防止をはじめ、防犯活動や交通事故防止活動を区役所、警察、学校などの関連行政機関、地域が協力して、区民総ぐるみで取り組みます。							
事業開始年度	平成6年度							
根拠法令・方針決裁等	交通安全対策基本法、第10次横浜市交通安全計画、スクールゾーン推進組織助成金交付要綱、栄区自転車等放置防止推進協議会地区活動補助金交付要綱、区セーフコミュニティ推進協議会設置要綱							
運営方針等との関連	令和4年度栄区運営方針 施策2 みんなが支えあい・助けあい、安心を感じるまちづくり							
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性)	<p>《SC交通安全対策分科会及び関連事業、スクールゾーン・自転車対策事業》 区民意識調査において交通安全対策に対する要望は高く、交通ルールの徹底やマナーの習得が求められています。一方、栄区内で発生する交通事故の傾向から、子どもと高齢者、二輪車に対する啓発活動の重要性が高まっています。</p> <p>《SC防犯対策分科会及び関連事業》 栄区では特殊詐欺の被害が増加しており、区民意識調査の結果からも防犯対策に対して不安を持っている区民が多いことがわかれるため、地域、学校、各種団体などと行政が連携、協働し、犯罪に強く安全なまちづくりを推進することが必要です。</p>							
根拠・データ等	<p>《SC交通安全対策分科会及び関連事業》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄区内交通事故 R3：202件 ・啓発キャンペーン R3：15回 <p>《スクールゾーン・自転車対策事業》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成6年 スクールゾーン推進組織助成金交付要綱 ・スクールゾーン路面表示の要望数 R3：27件 ・平成15年 栄区自転車等放置防止推進協議会地区活動補助金交付要綱 ・自転車等放置防止推進協議会巡回数 R3：29回 <p>《SC防犯対策分科会及び関連事業》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄区防犯情報メール登録者数 1,167名 ・栄区防犯情報メール配信回数 R3：93回 ・栄区内特殊詐欺被害 R3：44件、約5,769万円 							
事業指標	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
各種交通安全キャンペーン参加者数	単位	目標	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500
	人	実績	7,500	7,500				
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・平成6年度：各種キャンペーン実施 ・平成15年度：栄区自転車等放置防止推進協議会へ補助金の交付 ・平成18年度以降：新入学児童用防犯ブザーの配布 ・令和元年度：新入学児童用ランドセルカバーの配布 ・令和4年度：小学生登下校時における見守り活動の開始 							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	5年度	4年度	差引(増減)	増減説明
	①	SC交通安全対策分科会及び関連事業	934	832	102
②	スクールゾーン対策協議会	1,000	700	300	スクールゾーン新設・補修工事対応件数増加
③	駅前自転車等放置防止推進協議会	126	126	0	
④	SC防犯対策分科会及び関連事業	889	889	0	
	細事業合計	2,949	2,547	402	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	近堂 次郎	係長	野本 智英	地域活動	係	三國 淳也
--------------------	----	-------	----	-------	------	---	-------

事業区課	栄区	地域振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	地域コミュニティ費	1	目	枝番号	
歳出予算科目	一般会計	3	款	2	項	1
事業名称	資源化推進事業			政策番号	政策指標	施策番号 施策指標

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和5年度	447					447
令和4年度	447					447
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費	1,353	1,091	1,155	447	447	447
市債+一般財源	1,353	1,091	1,155	447	447	447
決算						
事業費	1,304	1,274	1,064			
市債+一般財源	1,304	1,274	1,064			

事業概要	ごみ減量に向けて、各家庭の生ごみ等の堆肥化や食品ロスの削減の啓発など、更なる3Rを推進します。							
事業開始年度	平成6年度							
根拠法令・方針決裁等	横浜市栄区生ごみ処理器キエーロ購入補助金交付要綱、栄リユース食器利用促進補助事業補助金交付要綱							
運営方針等との関連	令和4年度栄区運営方針 施策1 まちの魅力づくり							
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性)	横浜市における温室効果ガス排出量は、全国と比較して、家庭部門が占める割合が高くなっていることから、燃やすごみの多くを占める生ごみの削減など、更なる3R行動の実践が求められています。特に、燃やすごみに含まれている食品ロスについては、横浜市内で年間約9万3千トン（3年度推計）発生しており、大きな課題となっています。生ごみ堆肥化・食品ロス削減の啓発活動を通じて、家庭ごみの減量を目指します。							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> 横浜市の燃やすごみ量（家庭系） 元年度：581,581トン 2年度：598,830トン 3年度：578,909トン 横浜市の食品ロス発生量 元年度：約94,000トン 2年度：約93,000トン 3年度：約86,000トン 							
事業指標	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
ごみの分別意識	単位	目標	97.0	97.0	97.0	97.0	97.0	97.0
	%	実績	-	96.4				
食品ロス減の意識	単位	目標	85.4	85.4	85.4	85.4	85.4	85.4
	%	実績	-	76.8				
3Rの意識 (使い捨てプラ製品を使わない)	単位	目標	72.5	72.5	72.5	72.5	72.5	72.5
	%	実績	-	63.9				
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度：ミニ・キエーロモニター事業開始 令和2年度：ミニ・キエーロモニター事業終了 							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		5年度	4年度	差引(増減)	増減説明
	①	生ごみ等堆肥化事業	100	100	0	
	②	3R推進事業	347	347	0	
細事業合計			447	447	0	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	内田 正光	小松 徹	三國 淳也

事業区課	栄区	地域振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし	
予算区分	自主企画事業費	地域コミュニティ費	新規	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>			
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目	枝番号	前年度事業名称		
事業名称	地域の賑わい創出事業				政策番号	政策指標	施策番号	施策指標

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源	
令和5年度	5,831					5,831	
令和4年度	5,661					5,661	
増△減	170	0	0	0	0	170	

歳出	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費	5,200	5,680	5,661	5,661	5,661	5,661
市債＋一般財源	5,200	5,680	5,661	5,661	5,661	5,661
決算						
事業費	5,595	605	569			
市債＋一般財源	5,595	605	569			

事業概要	<p>栄区民の区への愛着を高め、区内のにぎわいを創出するため、栄区を中心とする本郷台駅前広場における各種イベントの実施や栄区民まつりを実施します。</p> <p>《栄区民まつり》 区民による、区民のための「まつり」を実施することにより、多世代が一同に集まる場を設け、区民の交流を図ります。</p> <p>《本郷台駅前活性化推進事業》 本郷台駅前広場でのイベント実施及び冬のイルミネーションにより、周辺地域の活性化及び商店街のPR・振興を図ります。</p>							
事業開始年度	平成12年度							
根拠法令・方針決裁等	栄区民まつり補助金交付要綱、本郷台駅前広場活性化推進委員会要綱							
運営方針等との関連	令和4年度栄区運営方針 施策1 まちの魅力づくり							
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性)	<p>栄区民まつりや駅前イベント開催等を通じて、栄区民の区への愛着を高め、区内のにぎわいを創出します。こうした取組を通じ、区民の交流や近隣商店街の活性化等波及効果を生んでいます。</p> <p>《栄区民まつり》 栄区への愛着を深め、地域の活性化や世代間の交流の場として、栄区民まつりを開催します。開催にあたり、区民ニーズに応え、多くの区民が楽しめるようにするためには、実施主体である、区民で組織する栄区民まつり実行委員会への総合的な支援が必要です。</p> <p>《本郷台駅前活性化推進事業》 本郷台駅前広場では定期的に各種団体によるイベントが開催されており、にぎわいを生んでいます。冬季はイベントが少ないことが課題となっていることから、区でイルミネーションによるイベントを開催し、駅前の活性化を図ることが必要です。令和5年度は、JR本郷台駅50周年を迎えるため、本郷台駅前広場に加え、本郷台駅前公園もイルミネーションで彩ります。</p>							
根拠・データ等	<p>《栄区民まつり》 来場者数：50,000人（元年度）</p> <p>《本郷台駅前活性化推進事業》 本郷台駅：栄区唯一のJR駅で、一日平均乗降客数15,682人（3年） 本郷台駅前広場：栄区小菅ヶ谷一丁目1、約1,500㎡ ※参考 桜木町駅前広場イベントスペース使用可能面積785㎡ 本郷台駅周辺商店街数、加盟店舗数：2商店街、28店舗（区内商店街加盟店の約60%）</p>							
事業指標	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
本郷台駅前広場開催イベント数	単位	目標	16	21	33	33	33	33
	回	実績	5	33				
事業スケジュール	<p>平成12年度：栄区民まつり開催 平成14年度：本郷台駅前広場活性化推進委員会発足 平成23年度：ほっとイルミネーション開催</p>							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		5年度	4年度	差引(増減)	増減説明
	①	栄区民まつり	4,950	4,950	0	
	②	本郷台駅前広場活性化推進事業	881	711	170	対象エリア拡大による増
細事業合計			5,831	5,661	170	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動
	近堂 次郎	野本 智英	三國 淳也

事業区課	栄区	地域振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	街づくり推進費	1	目	枝番号	前年度事業名称	
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1	目	政策番号	政策指標
事業名称	商業活性化推進事業				政策番号	政策指標	施策番号
						施策番号	施策指標

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源	
令和5年度	1,210					1,210	
令和4年度	1,380					1,380	
増△減	△ 170	0	0	0	0	△ 170	

歳出	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予 算 事業費	1,000	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
市債＋一般財源	1,000	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
決 算 事業費	489	1,471	1,278			
市債＋一般財源	489	1,471	1,278			

事業概要	商店街ににぎわいを創出するため、商店街主催イベントに対して広報を中心とした支援を行います。また、商店街が築いた地域との信頼性や丁寧なサービス等、地域に密着した商店街ならではの魅力を区役所として広報し、商店街活性化に向けた取組を進めます。							
事業開始年度	平成6年度							
根拠法令・方針決裁等								
運営方針等との関連	令和4年度栄区運営方針 施策1 まちの魅力づくり							
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性)	商店街のイベント企画等の支援や広報を強化することにより、商店街の活性化を図るほか、区独自の取組を企画・実施することにより、商店街の魅力を発信し、区民の認知度を高め、消費促進につなげることを目指します。							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> 市内商店街の代表者の年齢【令和2年度緊急商店街実態調査】 70代以上…41.0%、60代…28.5%、50代…16.9%、40代以下…10.0% 市内商店の経営者の年齢【令和2年度緊急商店街実態調査】 50代…23.9%、70代以上…22.6%、40代…21.0%、60代…19.5%、30代以下…12.5% 市内商店の後継者の有無【令和2年度緊急商店街実態調査】 いない…35.6%、まだ考えていない…34.7%、いる…24.6% 							
事業指標	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
栄区商店街連 合会加盟数	単位	目標	77	77	50	50	50	50
	店舗	実績	77	68				
事業スケジュール	平成30年度：商店街マップ作成 令和2年度：栄区商店街連合会ホームページ開設 令和3年度：商店街PR動画作成 令和4年度：商店街キャンペーン実施（商店街を周遊し購入促進）							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	5年度	4年度	差引(増減)	増減説明
	① 栄区商店街活性化推進事業		1,210	1,380	▲ 170
	細事業合計	1,210	1,380	▲ 170	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	近堂 次郎	野本 智英	三國 淳也

事業区課	栄区	地域振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし	
予算区分	自主企画事業費	文化・スポーツ・学習振興費	1	目	枝番号	前年度事業名称	文化・芸術振興事業	
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1	目	政策番号	政策指標	
事業名称	文化・芸術振興事業				政策番号	政策指標	施策番号	施策指標

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和5年度	4,686	0	0	100		4,586
令和4年度	4,081	0	0	100		3,981
増△減	605	0	0	0	0	605

歳出	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予 算	6,277	5,431	4,721	4,686	4,686	4,686
市債＋一般財源	6,142	5,286	4,621	4,601	4,616	4,616
決 算	6,728	4,297	3,941			
市債＋一般財源	6,679	4,207	3,808			

事業概要	人生を豊かにし、人々の創造性や感性を育むとともに、社会や経済に活力をもたらす源となる文化・芸術の振興を図ります。								
事業開始年度	平成6年度								
根拠法令・方針決裁等	横浜市民の読書活動の推進に関する条例、夏休みコンサート事業補助金交付要綱、栄区民芸術祭事業補助金交付要綱								
運営方針等との関連	令和4年度栄区運営方針 施策1 まちの魅力づくり								
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性)	<p>区民の文化芸術活動等への支援・振興を通じて、区民の日頃の活動成果の発表の場や学習の機会を創出し、区への愛着を育むとともに、区の魅力を高めていきます。</p> <p>《読書活動推進事業》 子どもの読書量の低下、大人の活字離れが進んでおり、幼少期からの読書習慣の定着等、読書活動の推進が必要です。また、栄区は書店が少なく交通不便という課題があり、図書館や図書貸出施設を中心とした読書環境・ネットワークの充実が求められています。</p> <p>《文化・芸術振興関係事業》 感染症拡大等の影響により、従来と比べて文化芸術に触れる機会が減少する中、これまで以上に生きがいや感動といった心の豊かさをもたらす多様な取組が求められています。区内の文化活動団体の支援を通じて、広く区民へ文化芸術に触れる機会を提供し、人生を豊かにし、人々の創造性や感性を育むとともに、社会や経済に活力をもたらす源となる文化・芸術を広く振興していきます。</p>								
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> ・栄図書館貸出冊数（横浜市立図書館年報） 平成29年度448,837冊、平成30年度430,850冊、令和元年度403,970冊 令和2年度345,270冊 ・栄区文化協会 構成団体：元年度152団体、2年度147団体、3年度86団体、4年度102団体（見込）、5年度102団体（見込） 会員数：元年度1,957人、2年度1,414人、3年度1,205人、4年度1,039人（見込）、5年度1,039人（見込） 								
事業指標	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	
読書活動推進 関連イベント の入場者数	単位	目標	170	170	170	180	190	200	
	人	実績	中止	中止					
文化・芸術振 興関係事業来 場者数	単位	目標	13,320	13,320	13,200	13,200	13,250	13,300	13,320
	人	実績	4,588	10,947					
歴史刊行物販売 冊数（年間・3 部累計）	単位	目標	550	400	400	400	350	300	300
	部	実績	371	496					
事業スケジュール	<p>《読書活動推進事業》 平成26年度：第一次横浜市民読書活動推進計画策定 （第一次）栄区読書活動推進目標を策定 令和元年度：第二次横浜市民読書活動推進計画策定 令和2年度：第二次栄区読書活動推進目標を策定 令和6年度（見込）：第三次栄区読書活動推進目標策定</p> <p>《夏休みコンサート事業》平成16年度：夏休みコンサートの開催 《夏休みコンサート事業》平成4年度：夏休みコンサートの開催 《栄区民芸術祭事業》平成9年度：区民芸術祭の開催</p> <p>《栄の歴史・文化事業》 平成13年度 栄区郷土史ハンドブック発行 平成16年度 栄区歴史散策マップ発行 平成24年度 栄の歴史発行</p>								

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	5年度	4年度	差引(増減)	増減説明
	① 読書活動推進事業	810	910	▲ 100	事業見直しによる減
	② 昼休みコンサート事業	40	40	0	
	③ 夏休みコンサート事業	200	200	0	
	④ 栄区民芸術祭事業	2,700	2,700	0	
	⑤ 栄の歴史・文化事業	936	231	705	歴史案内パネル修繕による増
細事業合計		4,686	4,081	605	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	生涯学習支援係
	近堂 次郎	細井 沙友里	筒井 智美

事業区課	栄区	地域振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	文化・スポーツ・学習振興費	1	目	枝番号	
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目	枝番号	
事業名称	スポーツ振興事業			政策番号	政策指標	施策番号 施策指標

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和5年度	3,380					3,380
令和4年度	3,680					3,680
増△減	△ 300	0	0	0	0	△ 300

歳出	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算	3,380	3,180	3,480	3,380	3,380	3,380
市債+一般財源	3,380	3,180	3,480	3,380	3,380	3,380
決算	3,366	875	3,026			
市債+一般財源	3,366	875	3,026			

事業概要	スポーツ活動促進及び健康保持・増進を図るため、栄区民を対象としたスポーツ事業を支援するとともに、スポーツによる事故やけがを予防するための事業に取り組みます。							
事業開始年度	平成15年度							
根拠法令・方針決裁等	スポーツ基本法、第3期スポーツ基本計画、第3期横浜市スポーツ基本計画、栄区スポーツ大会等補助金交付要綱、栄区民ロードレース大会事業補助金交付要綱、栄区民スポーツフェスティバル補助金交付要綱							
運営方針等との関連	令和4年度栄区運営方針 施策1 まちの魅力づくり、施策2 みんなが支えあい・助けあい、安心を感じるまちづくり							
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性)	<p>区民のスポーツ活動の活発化やスポーツ活動中の事故やけがを予防を行うことにより、区民の体力向上・健康の保持・増進など区民生活の充実を目指します。</p> <p>《スポーツ振興関係事業》 スポーツ振興を図るためには、身近な地域でスポーツに親しむ機会の創出が必要です。競技スポーツの中心的な担い手である区のスポーツ協会実施の様々なスポーツ大会等の支援を行うことにより、更なるスポーツ振興の推進を図ります。また、これらの担い手と協働し、より多くの区民がスポーツを始めるためのきっかけづくりやスポーツを継続して行うための環境づくりなどに取り組みます。</p> <p>《SCスポーツ安全対策分科会及び関連事業》 スポーツにおける事故やけがを予防する具体的な対策を地域と協働して検討していく必要があります。</p>							
根拠・データ等	<p>栄区スポーツ協会加盟専門部数 《実績推移》元年度21団体、2年度21団体、3年度20団体、4年度19団体、令和5年度19団体（見込み） スポーツ団体からの後援申請数 《実績推移》元年度40件、2年度17件、3年度15件、4年度30件（見込み）、令和5年度40件（見込み）</p>							
事業指標	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
スポーツ振興事業の参加者数	単位	目標	18,400	18,900	18,500	18,500	19,000	19,000
	人	実績	6,381	11,750				
事業スケジュール	<p>《栄区スポーツ大会等への補助事業》平成15年度：補助事業開始 《栄区民ロードレース大会事業》平成元年度：栄区民ロードレース大会の開催 平成30年度：主会場を埋蔵文化財センターへ変更 《栄区民スポーツフェスティバル事業》平成16年度：栄区民スポーツフェスティバルの開催 《SCスポーツ安全対策分科会及び関連事業》平成22年度SC推進協議会設置要綱施行 分科会活動開始</p>							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	5年度	4年度	差引(増減)	増減説明
	① 栄区スポーツ大会等への補助事業	315	315	0	
	② 栄区民ロードレース大会	2,370	2,370	0	
	③ 栄区民スポーツフェスティバル	115	115	0	
	④ SCスポーツ安全対策分科会及び関連事業	580	880	▲ 300	事業見直しによる減
細事業合計		3,380	3,680	▲ 300	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	生涯学習支援 係
	近堂 次郎	細井 沙友里	三友 恭太

事業区課	栄区	地域振興課	新規拡充	■ 新規	□ 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	地域コミュニティ費	1	目	枝番号	前年度事業名称	地域の人材育成・交流支援事業
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1	目	政策番号	政策指標
事業名称	地域の担い手育成・交流支援事業				政策番号	政策指標	施策番号

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和5年度	5,606					5,606
令和4年度	4,133					4,133
増△減	1,473	0	0	0	0	1,473

歳出	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予 算	4,860	3,713	3,558	5,606	5,606	5,606
決 算	3,396	1,219	1,304	5,606	5,606	5,606

事業概要	人がつながり、地域がつながるまちの実現に向け、友好交流都市との交流の促進、区民の多文化意識の醸成、区内で活動している地域活動・生涯学習活動団体の支援と新たな活動の担い手発掘、青少年健全育成、区民利用施設等の安全・安心の推進を目的とした各種事業を実施します。							
事業開始年度	平成10年度							
根拠法令・方針決裁等	<ul style="list-style-type: none"> ・友好交流協定書、友好交流宣言 ・外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策（外国人材の受入れ・共生に関する関係閣僚会議）、横浜市多文化共生まちづくり指針 ・第3次横浜市生涯学習基本構想、市民協働条例、市民活動支援センター地域レベル展開ガイドライン、市民活動支援センター事業展開ガイドライン ・SAKAEヤングフェスティバル事業補助金交付要綱 ・栄区中学校対校駅伝大会事業補助金交付要綱 ・横浜市公共施設管理基本方針、横浜市公会堂条例等 							
運営方針等との関連	令和4年度栄区運営方針 施策1 まちの魅力づくり							
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性)	<p>地域で自主的に活動する担い手の育成や交流支援により、区民の郷土愛を醸成し、地域の活性化、地域課題の解決につなげます。</p> <p>《友好交流都市事業》 他都市住民との交流により、区の魅力を再発見・再認識し、区民の郷土愛を醸成します。また、交流活動を通して、区民の活躍の場の提供及び生きがいの創出、区民同士の連携につながり、地域力の向上を図ることができます。加えて、行政間の交流により、自然や施設、文化、人材等の地域資源の活用及び地域課題など政策手法の共有や協力・支援につなげていきます。</p> <p>《栄区多文化共生事業》 近年、来浜した外国人が定住化するとともに、外国にルーツのある住民が増加しています。多様な文化背景や価値観を互いに尊重し、共に暮らせる多文化共生地域を目指します。</p> <p>《区民活動支援事業》 栄区は、幅広い世代の区民が地域において熱心に活動を行っている、自主的な市民活動が活発な地域です。多様化する区民ニーズに対応するためには、行政のみならず区民との協働による課題解決が必要です。このため、様々な分野で活動する市民活動団体の活性化や継続的な団体運営を推進するための人材育成や団体支援等が求められています。</p> <p>《区民利用施設等安全・安心推進事業》 区民の地域活動・交流の基盤となる区民利用施設等について、その利便性・機能性を向上するだけでなく、老化化対策を行います。また、自然災害や新型コロナウイルス感染症対策など、予算編成時に想定できない突発的な課題へ迅速に対応し、区民施設等の安全・安心を推進します。</p> <p>《SAKAEヤングフェスティバル事業》 昨今、少子化や地域住民のつながりの希薄化などによる社会環境の変化に伴い、以前より青少年が地域で活躍する場が不足しています。青少年が社会の一員として地域と主体的に関わりながら生活していくことができるよう、青少年による地域参加の機会を行政と地域が一体となって提供することが求められています。</p> <p>《栄区中学校対校駅伝大会》 本郷台駅前で行う駅伝大会を行うことで、区内中学校に通学する生徒の区への愛着を高め、地域のにぎわいを創出します。</p>							
根拠・データ等	<p>《友好交流都市事業》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長野県栄村：H25.11.2 友好交流協定 ・青森県南部町：H27.11.7 友好交流協定 ・山形県高島町：H29.11.11 友好交流宣言 <p>《栄区多文化共生事業》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横浜市統計情報ポータル「国籍・地域別外国人人数(栄区)」 〈実績推移〉1987年419人、2000年788人、2010年975人、2021年1,181人 <p>《区民活動支援事業》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さかえ区民活動センター利用者数 〈実績推移〉元年度 18,905人／2年度 11,644人／3年度 10,154人 ・さかえ区民活動センター登録団体数 〈実績推移〉元年度 325団体／2年度 279団体／3年度 248団体 ※令和3年12月からの委託化に伴い、団体登録を一新するため令和3年度末の団体数は一時的に減少しました。 <p>《SAKAEヤングフェスティバル事業・栄区中学校対校駅伝大会》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市立学校現況「中学校 行政区別学級・生徒数」より、栄区内中学校生徒数 〈実績推移〉平成30年度2,390人 元年度2,505人、2年度2,390人、3年度2,416人 							
事業指標	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
地域の活性化、地域課題の解決に貢献した人数	単位	目標	-	-	900	910	920	930
	人	実績	-	-	-	-	-	-

地域の活性化、地域課題の解決に貢献した団体数	単位	目標	-	-	-	320	330	340	350
	団体	実績	-	-					
事業スケジュール		《区民活動支援事業》 平成18年度：さかえ区民活動センターの開館 令和3年度：SAKAESTAへの移転、運営委託化 《SAKAEヤングフェスティバル事業・中学校対校駅伝大会》 平成2年度：事業開始（第1回SAKAEヤングフェスティバル） 平成13年度：場所を栄区役所から本郷台駅前に移し開催（第12回SAKAEヤングフェスティバル） 平成23年度：「中学生が主役」の一日として中学校対校駅伝を同日開催（第22回SAKAEヤングフェスティバル）							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	5年度	4年度	差引(増減)	増減説明
	①	友好交流都市事業	520	900	▲ 380
②	栄区多文化共生事業	610	510	100	研修実施による増
③	区民活動支援事業	906	903	3	実績による増
④	区民利用施設等安全・安心推進事業	1,750	0	1,750	新規事業による増
⑤	SAKAEヤングフェスティバル事業	1,420	1,420	0	
⑥	中学校対校駅伝大会	400	400	0	
	細事業合計	5,606	4,133	1,473	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	生涯学習支援係
	近堂 次郎	細井 沙友里	鍛冶 晶子

事業区課	栄区	戸籍課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	区役所総務費					
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目	枝番号	前年度事業名称	
事業名称	窓口混雑緩和に向けた区民サービス向上事業				政策番号	政策指標	施策番号 施策指標

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和5年度	2,365	0	0	115		2,250
令和4年度	2,586	0	0	115		2,471
増△減	△ 221	0	0	0	0	△ 221

歳出	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算			3,000	1,164	1,164	1,164
市債+一般財源			0	1,164	1,164	1,164
決算			11,768			
市債+一般財源			0			

事業概要	非来庁型の手続きに慣れていただく契機とすることを旨とし、モデル事業としてコンビニ交付サービスの普及に取り組みます。また、マイナンバーカードの交付で混雑した待合エリアを中心として、来庁された方が快適に過ごせるよう環境改善に継続的に取り組みます。																																																															
事業開始年度	令和3年度																																																															
根拠法令・方針決裁等	令和2年12月方針伺い																																																															
運営方針等との関連	令和4年度栄区運営方針 施策4 地域に寄り添う区役所																																																															
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性)	栄区のマイナンバーカードの取得率は51.6%（令和4年7月時点）となっており、令和2年度の33.5%から20%近く伸びています。しかし、国の施策では令和4年度末までにほとんどの国民が取得することを旨としており、今後も取得率が上がることが想定されず。マイナンバーカードの取得率の向上とともに、コンビニ交付のような非来庁型手続きの普及率向上につなげるため、マルチコピー機を設置して、操作に慣れていただく契機とし、区民の皆様の利便性の向上を図ります。																																																															
根拠・データ等	栄区における交付数（枚） <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>< H30 ></th> <th>< R元 ></th> <th>< R2 ></th> <th>< R3 ></th> <th>< R4 ></th> <th>< R5 ></th> <th>※R4, R5は見込み</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・窓口</td> <td>84,251</td> <td>83,071</td> <td>81,304</td> <td>72,155</td> <td>64,500</td> <td>56,900</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・郵送</td> <td>17,672</td> <td>18,089</td> <td>16,987</td> <td>17,001</td> <td>16,500</td> <td>16,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・コンビニ</td> <td>3,686</td> <td>4,633</td> <td>8,289</td> <td>16,356</td> <td>24,500</td> <td>32,600</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・総数</td> <td>105,609</td> <td>105,793</td> <td>106,580</td> <td>105,512</td> <td>105,500</td> <td>105,500</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・コンビニ交付割合</td> <td>3.5%</td> <td>4.4%</td> <td>7.8%</td> <td>15.5%</td> <td>23.2%</td> <td>30.9%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・マイナンバーカード普及率</td> <td>17.8%</td> <td>20.8%</td> <td>33.5%</td> <td>48.8%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									< H30 >	< R元 >	< R2 >	< R3 >	< R4 >	< R5 >	※R4, R5は見込み	・窓口	84,251	83,071	81,304	72,155	64,500	56,900		・郵送	17,672	18,089	16,987	17,001	16,500	16,000		・コンビニ	3,686	4,633	8,289	16,356	24,500	32,600		・総数	105,609	105,793	106,580	105,512	105,500	105,500		・コンビニ交付割合	3.5%	4.4%	7.8%	15.5%	23.2%	30.9%		・マイナンバーカード普及率	17.8%	20.8%	33.5%	48.8%	100.0%	100.0%	
	< H30 >	< R元 >	< R2 >	< R3 >	< R4 >	< R5 >	※R4, R5は見込み																																																									
・窓口	84,251	83,071	81,304	72,155	64,500	56,900																																																										
・郵送	17,672	18,089	16,987	17,001	16,500	16,000																																																										
・コンビニ	3,686	4,633	8,289	16,356	24,500	32,600																																																										
・総数	105,609	105,793	106,580	105,512	105,500	105,500																																																										
・コンビニ交付割合	3.5%	4.4%	7.8%	15.5%	23.2%	30.9%																																																										
・マイナンバーカード普及率	17.8%	20.8%	33.5%	48.8%	100.0%	100.0%																																																										
事業指標	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度																																																								
栄区住民票等証明発行総数におけるコンビニ交付利用率	単位	目標	-	14.9	23.2	30.9	30.9	30.9																																																								
	%	実績	7.8	15.5																																																												
栄区マルチコピー機の証明書等発行	単位	目標	-	1,350	2,000	2,200	2,200	2,200																																																								
	枚	実績	-	1,850																																																												
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> 住民票等セルフ手続き促進事業：令和3年7月開始（令和6年3月31日までの長期契約） 1階待合フロア環境改善事業：令和3年度 9月～2月実施、令和4年度 9月～3月（予定）、令和5年度 随時（予定） 																																																															

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		5年度	4年度	差引(増減)	増減説明
	①	住民票等交付セルフ手続き促進事業	1,200	1,200	0	
	②	1階待合フロア環境改善事業	1,165	1,386	▲ 221	実績による減
細事業合計			2,365	2,586	▲ 221	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	戸籍係
	中野 由紀子	上野 綾子	松崎 和泉

事業区課	栄区	福祉保健課	新規拡充	■ 新規	□ 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	地域福祉保健推進費	1	目	枝番号	前年度事業名称	
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1	目	政策番号	政策指標
事業名称	地域福祉保健計画推進事業				政策番号	政策指標	施策番号
						施策番号	施策指標

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源	
令和5年度	3,593					3,593	
令和4年度	2,031					2,031	
増△減	1,562	0	0	0	0	1,562	

歳出	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予 算	1,742	3,116	3,838	1,766	3,838	1,766
市債＋一般財源	1,742	3,116	3,838	1,766	3,838	1,766
決 算	1,289	804	2,895			
市債＋一般財源	1,289	804	2,895			

事業概要	誰もが安心して自分らしく健やかに暮らせる地域社会の実現を目指し、地域住民、関係団体、事業者、区役所、区社会福祉協議会、地域ケアプラザ等が福祉保健を中心とした地域課題の解決に取り組み、身近な地域の支え合いの仕組みづくりを進める計画である栄区地域福祉保健計画の推進を図ります。							
事業開始年度	平成15年度							
根拠法令・方針決裁等	社会福祉法第107条、栄区地域福祉保健計画策定・推進会議運営要綱、さかえ・つながるプラン補助金交付要綱、民生委員法							
運営方針等との関連	令和4年度栄区運営方針 施策2 みんなが支えあい・助けあい、安心を感じるまちづくり							
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性)	第4期さかえ・つながるプラン(栄区地域福祉保健計画)は、第3期の基本理念である「みんなが支えあい安全・安心を感じるまちさかえ」を継承し、支える側・支えられる側という関係を超えて、栄区の全ての皆さん、活動団体、区社会福祉協議会、地域ケアプラザ、区役所が連携・協力して、進めていきます。3つの目指すまちな姿(目標)として、①誰もが身近な地域でいきいきと暮らせるまちな、②お互いさまで支えあうまちな、③様々なつながりがあり情報が行きとどくまちな、を掲げ、より暮らしやすい地域を目指します。区域全体や地区ごとの福祉保健などの課題・取組を共有しながら、計画を推進します。							
根拠・データ等	<p>【地域活動への参加状況】令和3年度栄区区民意識調査 地域活動に参加している栄区民の割合 61.0%</p> <p>【定住意向】令和3年度栄区区民意識調査 栄区に「住み続けたい」人の割合 83.9%</p> <p>【隣近所とのつきあい方、隣近所とのつきあいについて感じていること】 隣近所とのつきあい方・・・「道で会えば挨拶くらいする」50.0% 隣近所とのつきあいについて感じていること・・・「お互いに干渉したり、気を使ったりしないので暮らしやすい」75.1%</p> <p>【栄区の高齢化率】 2021年9月時点で、31.0%(全国29.1%、横浜市24.8%)と高く、2035年には36.3%に達すると見込まれており、民生委員の高齢化や負担増、担い手不足等が懸念されます。</p> <p>【令和4年度民生委員児童委員の推薦者数(主任児童委員を含む)】 令和4年12月1日現在：150人(定数：163人)</p>							
事業指標	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
地域活動に参加している栄区民の割合(区民意識調査)	単位	目標	70.0	-	72.0	-	74.0	-
	%	実績	-	61.0				
研修の参加者数	単位	目標	30	30	30	30	30	30
	人	実績	29	0				
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> 平成17年度～平成21年度 第1期計画の推進 平成22年度～平成27年度 第2期計画の推進 平成28年度～令和2年度 第3期計画の推進 令和3年度～令和7年度 第4期計画の推進 							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		5年度	4年度	差引(増減)	増減説明
	①	会議開催	180	180	0	
②	計画の推進	1,763	1,851	▲ 88	フォーラム回数の見直しによる減	
③	民生委員の負担軽減に向けた基礎調査	1,650	0	1,650	新規事業による増	
細事業合計		3,593	2,031	1,562		

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	事業企画担当
	齋藤 修身	大野 和義	市村 翠里

事業区課	栄区	福祉保健課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	地域福祉保健推進費	1	目	枝番号	前年度事業名称	
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1	目	政策番号	
事業名称	健康づくりの推進事業			政策番号		政策指標	
						施策番号	
						施策指標	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和5年度	680					680
令和4年度	1,173					1,173
増△減	△ 493	0	0	0	0	△ 493

歳出	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費	6,084	2,387	1,849	760	760	760
市債十一般財源	6,084	2,387	1,849	760	760	760
事業費	5,923	1,239	1,097			
市債十一般財源	5,923	1,239	1,097			

事業概要	健康寿命の延伸に向けて、関係団体と連携して区民の健康づくりを進めます。また、健康づくりの一環である感染症対策については、施設等に向けた研修の機会を増やし、予防対策を強化します。							
事業開始年度	平成6年度							
根拠法令・方針決裁等	令和4年度栄区運営方針 施策2 みんなが支えあい・助けあい、安心を感じるまちづくり							
運営方針等との関連	令和4年度栄区運営方針 施策2 みんなが支えあい・助けあい、安心を感じるまちづくり							
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性)	健康づくりの意識を高め、自分自身の健康状態の把握と対策が取れるようにします。 ・健康寿命の延伸のため、関係団体と連携しての、区民に健康づくりの啓発をします。 ・福祉や教育の場で運営・支援する人が、日頃から正しく感染症対策に取り組むことで、その発生を最小限にとどめられます。 ・地域ケアプラザ・地域の活動者等に「健康長寿さ・か・え応援ノート」を活用いただき、「運動」「社会参加」「栄養」の3つの視点の取組の啓発を行うことにより、栄区民の健康寿命の延伸を図ります。 ・悩みを抱えながら生きる方の心の健康を保つため、相談支援の検討やハートフルサポーターの育成を行うなど、自殺予防対策の取組を進めます。							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> 健康増進普及月間実施要綱(厚労省)より 人口の高齢化、社会生活環境の急激な変化等に伴って、糖尿病、がん、心臓病、脳卒中等に代表される生活習慣病の増加等が大きな問題となっている。生活習慣病の特性や運動・食事・禁煙など個人の生活習慣の改善の重要性についての国民一人ひとりの理解を深め、さらにその健康づくりの実践を促進するため、健康増進普及月間を定め、食生活改善普及運動と連携して、種々の行事等を全国的に実施するものである。 <統一標語> 1に運動 2に食事 しっかり禁煙 最後にクスリ ～健康寿命の延伸～ 							
事業指標	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
感染症集団感染発生数	単位	目標	-	70	65	60	55	50
	件	実績	-	-	-	-	-	-
区民意識調査で「健康」「まあ健康」の回答の割合	単位	目標	80.0	-	82.0	-	85.0	-
	%	実績	-	81.8	-	-	-	-
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <健康増進事業> 11月 区役所・栄図書館での啓発パネル展及び区民まつりでの啓発 通年 「健康長寿さ・か・え」ロゴを活用した啓発活動 <感染症予防事業> 9月～高齢者・障害者施設、保育園、幼稚園、小学校等の職員向けの感染症研修の実施 <自殺予防対策> 分科会 上半期1回 自殺予防啓発 図書館企画展を実施(9月)、イベント等での啓発 							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	5年度	4年度	差引(増減)	増減説明
	① 健康増進事業	516	346	170	事業統合による増
	② 感染症予防事業	100	120	▲ 20	啓発方法の見直しによる減
	③ 「運動」「社会参加」「栄養」に関する啓発事業	0	580	▲ 580	健康増進事業に統合
	④ SC自殺予防対策分科会	64	127	▲ 63	分科会開催回数変更による減
細事業合計		680	1,173	▲ 493	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	健康づくり係
	齋藤 修身	門脇 由美	林田 智博

事業区課 栄区 福祉保健課 新規拡充 □ 新規 ■ 拡充 事業評価書番号 該当なし

(単位：千円)

区分 金額 財源内訳 一般財源等

歳出 令和元年度 令和2年度 令和3年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度

事業概要 事業開始年度 根拠法令・方針決裁等 運営方針等との関連 ①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性) 根拠・データ等 事業指標 事業スケジュール

(単位：千円)

細事業 (事業内訳) 細事業名称 5年度 4年度 差引 (増減) 増減説明

本資料は、公正・適正に作成しました。 課長 齋藤 修身 係長 門脇 由美 健康づくり 係 伊藤 貴子

事業区課	栄区	生活衛生課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	地域福祉保健推進費	1	目	枝番号	前年度事業名称	
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項				
事業名称	健康で安全な食と暮らしの推進事業			政策番号	政策指標	施策番号	施策指標

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和5年度	325					325
令和4年度	1,143					1,143
増△減	△ 818	0	0	0	0	△ 818

歳出	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費	1,074	1,068	1,151	990	990	990
市債+一般財源	1,074	1,068	1,151	990	990	990
決算	974	1,509	907			
市債+一般財源	974	1,509	907			

事業概要	区民の健康で安全な食と暮らしを推進していくため、食中毒予防や衛生害虫対策を実施します。							
事業開始年度	平成6年度							
根拠法令・方針決裁等	食品衛生法、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律							
運営方針等との関連	令和4年度栄区運営方針 施策2 みんなが支えあい・助けあい、安心を感じるまちづくり							
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性)	安全な食品の提供のため、社会福祉施設やボランティア等への食品に関する啓発を進めていく必要があります。同時に、区民に対し食品衛生に関する情報を提供することで、食中毒の発生を予防します。衛生害虫に関する相談が多く寄せられていることから、正確で分かりやすい情報提供や啓発を行うとともに、蚊の対策については地域ぐるみで対策を行うことが効果的なため、町内会等への支援を行います。この事業により、地域で蚊の対策が進み、蚊の発生が減少します。							
根拠・データ等	【市内食中毒発生件数(暦年)】 令和元年 50件、令和2年 37件、令和3年 32件 【衛生害虫に関する相談件数】 令和元年度 203件、令和2年度 199件、令和3年度 162件							
事業指標	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
衛生害虫に関する 相談受付件数	単位	目標	200	180	180	150	150	150
	件数	実績	199	162				
食品関係苦情 相談受付件数	単位	目標	40	35	35	15	15	12
	件数	実績	13	17				
事業スケジュール	平成6年度 事業開始 平成6年度～ 食品衛生講習会の開催 平成30年～令和2年度 蚊媒感染症対策事業 令和2～5年度 社会福祉施設等への講習会又はチラシの郵送、立ち入り時の情報提供							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		5年度	4年度	差引(増減)	増減説明
	①	生活衛生普及啓発事業	325	50	275	食品衛生普及啓発事業からの移行に伴う増
	②	食品衛生普及啓発事業	0	245	▲ 245	生活衛生普及啓発事業への移行に伴う減
	③	動物適正飼育推進事業	0	848	▲ 848	新規事業への移行に伴う減
細事業合計			325	1,143	▲ 818	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	生活衛生 係
	古家 浩一	荒木 こだち	荒木 こだち

事業区課	栄区	生活衛生課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	地域福祉保健推進費	1	目	枝番号	前年度事業名称	
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1	目	枝番号	
事業名称	動物適正飼育推進事業			政策番号		政策指標	
						施策番号	
						施策指標	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源等	
		国	県	諸収入		市債	一般財源
令和5年度	915						915
令和4年度	0						0
増△減	915	0	0	0	0	0	915

歳出		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算	事業費	0	0	0	800	800	500
	市債+一般財源	0	0	0	800	800	500
決算	事業費	0	0	0			
	市債+一般財源	0	0	0			

事業概要	飼い主のいない猫によるトラブルを防止するため、不妊去勢手術やその後の管理を推進し、また、犬や猫の飼育マナーを改善することで、犬や猫と共に快適に暮らせる街づくりを目指します。							
事業開始年度	令和5年度							
根拠法令・方針決裁等	動物の愛護及び管理に関する法律							
運営方針等との関連	令和4年度栄区運営方針 施策2 みんなが支えあい・助けあい、安心を感じるまちづくり							
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性)	<p>飼い犬の鳴き声や散歩時のマナーについての苦情が寄せられています。そこで、飼い方のセミナーや長寿犬表彰等による啓発を行い、適正飼育や終生飼育に関する飼い主の意識を高めます。</p> <p>飼い主のいない猫のフンや発情期の鳴き声、新たな子猫が生まれるなどの相談が寄せられています。地域の方に対策の進め方を説明し、登録ボランティアとともに丁寧に支援することで、不妊去勢手術やその後の管理を進めます。</p> <p>これら事業を総合的に推進することにより、犬猫に関するトラブルが減り、周囲の理解がすすみ、犬や猫と共に住みやすいまちとなります。</p>							
根拠・データ等	<p>【栄区の犬の登録件数】 令和元年度末時点 5,747頭、令和2年度末時点 5,702頭、令和3年度末時点 5,704頭</p> <p>【横浜市の犬、猫の収容件数】 犬：令和元年度 150頭、令和2年度 169頭、令和3年度 148頭 猫：令和元年度 906頭、令和2年度 901頭、令和3年度 629頭</p>							
事業指標	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
犬猫苦情受付 件数	単位	目標	40	40	40	35	35	35
	件数	実績	95	62				
犬の収容頭数	単位	目標	10	10	8	3	3	2
	件数	実績	5	4				
猫の収容頭数	単位	目標	50	40	30	25	20	20
	件数	実績	26	26				
事業スケジュール	<p>令和2～4年度 わんわんパトロール事業</p> <p>令和3～4年度 飼い主のいない猫の不妊去勢手術支援のための捕獲器の整備</p> <p>令和4年度 栄区猫ボランティア募集、試行開始</p> <p>令和5年度 栄区猫ボランティア制度スタート</p>							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		5年度	4年度	差引(増減)	増減説明
	①	猫ボランティア支援事業	420	0	420	新規事業による増
	②	長寿犬表彰事業	330	0	330	新規事業による増
	③	適正飼育啓発事業	165	0	165	新規事業による増
細事業合計			915	0	915	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	生活衛生係
	古家 浩一	荒木 こだち	荒木 こだち

事業区課	栄区	高齢・障害支援課	新規拡充	■ 新規 □ 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	地域福祉保健推進費	1	目	枝番号	
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1	目	前年度事業名称
事業名称	次世代交流ステーション運営事業			政策番号	政策指標	施策番号 施策指標

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和5年度	12,576	0	0	8,075		4,501
令和4年度	10,826	0	0	8,075		2,751
増△減	1,750	0	0	0	0	1,750

歳出	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予 算	10,406	10,911	10,826	12,576	12,576	12,576
市債+一般財源	2,793	2,836	2,751	4,501	4,501	4,501
決 算	10,664	10,672	10,844			
市債+一般財源	2,486	2,521	2,669			

事業概要	地域子育て支援拠点「にこりんく」、栄区青少年の地域活動拠点「フレンズ☆SAKAE」、放課後等デイサービス事業「びっころんど」、栄区基幹相談支援センター、後見の支援室「とんぼ」の適切な管理運営を行います。							
事業開始年度	平成22年度							
根拠法令・方針決裁等								
運営方針等との関連	栄区運営方針 施策2 みんなが支えあい・助けあい、安心を感じるまちづくり							
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性)	次世代を担う子どもたちの個々のニーズに対応するだけでなく、子育て中の親子や青少年、障害のある方など様々な交流を通じて、日常生活での新たな気づきや今後の主体的行動へつなげる子どもたちの育成を目指す複合施設の適切な管理運営を行うとともに、現場の横断的取組を支援します。							
根拠・データ等	【R3年度実績】 ・地域子育て支援拠点：活動日数242日、利用者数13,603人、登録者数3,238人(R3年度末時点) ・青少年の地域活動拠点：[年間利用者数]青少年2,180人、大人906人、合計3,086人 ・放課後等デイサービス事業：登録者数33人(R3年度末時点)、延べ利用者数1,817人 ・基幹相談支援センター：相談者数1,447人 ・後見の支援室：利用登録者数158人、あんしんキーパー登録者数113人(R3年度末時点)							
事業指標	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
各施設利用者数合計	単位	目標	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000
	人	実績	17,199	19,953				
事業スケジュール	通年：施設の管理運営 令和5年度～：デジタルツールを活用した次世代交流事業の実施							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		5年度	4年度	差引(増減)	増減説明
	①	次世代交流ステーション運営事業	10,826	10,826	0	
	②	デジタルツールを活用した次世代交流事業	1,750	0	1,750	新規事業による増
細事業合計			12,576	10,826	1,750	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	高齢・障害係
	松原 実千代	長戸 泰弘	神野 文恵

Table with 7 columns: 事業区課, 栄区, 高齢・障害支援課, 新規拡充, 新規, 拡充, 事業評価書番号, 該当なし. Includes rows for 予算区分, 歳出予算科目, and 事業名称.

(単位: 千円)

Table with 8 columns: 区分, 金額, 国, 県, 諸収入, 市債, 一般財源. Rows for 令和5年度, 令和4年度, and 増△減.

Table with 7 columns: 歳出, 令和元年度, 令和2年度, 令和3年度, 令和6年度, 令和7年度, 令和8年度. Rows for 事業費, 市債+一般財源, and 決算.

Main project details table with 2 columns: 事業概要, 事業開始年度, 根拠法令・方針決裁等, 運営方針等との関連, ①背景・課題の分析, ②事業目的・効果(必要性), 根拠・データ等, 事業指標, 事業スケジュール.

(単位: 千円)

Table with 5 columns: 細事業名称, 5年度, 4年度, 差引(増減), 増減説明. Rows for ①セーフコミュニティ(S.C)高齢者安全対策分科会及び関連事業, ②家族のための介護カウンセリング事業, ③敬老お祝い事業, and 細事業合計.

Table with 4 columns: 本資料は、公正・適正に作成しました。 課長 松原 実千代 係長 木村 香織 高齢・障害 係 神野 文恵

事業区課	栄区	高齢・障害支援課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	地域福祉保健推進費			前年度事業名称	
歳出予算科目	一般会計	3 款 2 項	1 目	枝番号		
事業名称	高齢者のICT利活用支援事業			政策番号	政策指標	施策番号 施策指標

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和5年度	450	0	0	0		450
令和4年度	450	0	0	0		450
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予 事業費		0	0	0	450	0	0
算 市債+一般財源		0	0	0	450	0	0
決 事業費		0	0	0			
算 市債+一般財源		0	0	0			

事業概要	高齢者が住み慣れた地域で安心して住み続けられることを目指して、高齢者に対し、ICTを利用した健康教育やICTの習得支援を行います。併せて、地域活動でのICTのサポート役となるボランティアを養成し、高齢者のICT利活用の支援を図ります。							
事業開始年度	令和4年度							
根拠法令・方針決裁等	介護保険法、老人福祉法、第8期高齢者福祉保健計画・介護保険事業計画							
運営方針等との関連	令和4年度栄区運営方針 施策2 みんなが支えあい・助けあい、安心を感じるまちづくり							
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性)	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、人が集まるような地域活動の継続が困難な状況にあり、不要不急の外出を控えた結果、高齢者が身体機能・認知機能ともに低下したとの研究結果が出されています。加齢等による身体能力低下に伴い、外出が困難となった高齢者についても、社会参加するための手段が必要です。 ・リモートによる会議やSNSなどのICT技術を活用することで、人と人とのつながりを作り出し、実際に集まらなくても地域活動等の継続が可能となり、高齢者の社会参加を支援することができます。 ・高齢者のICT利活用習得について個別支援を行うことで、高齢者がデジタル社会に取り残されることなく、健康維持及び日常生活に必要なサービス利用ができるようになります。 							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> ・区内65歳以上の高齢者数【住民基本台帳による】(毎年度末) <ul style="list-style-type: none"> <実績推移>平成29年度36,972人、平成30年度37,176人、令和元年度37,300人、令和2年度37,415人、令和3年度37,411人 ・要介護認定者数【横浜市統計書】(毎年度末) <ul style="list-style-type: none"> <実績推移>平成29年度5,747人、平成30年度6,010人、令和元年度6,212人、令和2年度6,463人、令和3年度6,703人 ・JAGES(日本老年学的評価研究機構)2020年新型コロナ実態調査 ※調査対象：要介護認定を受けていない65歳以上高齢者【栄区】 <ul style="list-style-type: none"> 緊急事態宣言期間中に何らかの行動を自粛した高齢者は91.3%(横浜市89.5%) 緊急事態宣言期間中に社会参加の活動頻度が減少した高齢者は30.8~65.1%(横浜市47.9%~57.9%) 自分用の情報機器を所有している高齢者の率 92.6%(横浜市91.1%) 内訳 スマートフォン(56.3%) パソコン(46.8%) 携帯電話(33.3%) タブレット(14.3%) (横浜市 スマートフォン(57.1%) パソコン(38.4%) 携帯電話(31.3%) タブレット(14.7%)) 【横浜市】 <ul style="list-style-type: none"> 外出やスポーツの会参加頻度が減少した高齢者の「要支援・要介護リスク」：1.5~1.8倍 外出、対面交流、趣味の会参加の頻度が減少した高齢者の「フレイルリスク」：1.5~1.8倍 自宅内での趣味、通いの場参加の頻度が減少した高齢者の「うつであるリスク」：1.5~2.2倍 音声通話やメール、チャット、ビデオ通話、ソーシャルメディアの利用が増えた高齢者の「うつであるリスク」：21~46%低い 							
事業指標	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
ICTを活用したボランティア等の活動に参加を希望する受講者の割合	単位	目標	-	-	60	60	-	-
	%	実績	-	-				
事業スケジュール	令和4年度：事業開始、高齢者ICTボランティア養成講座の開始 令和5年度：高齢者ICT利活用習得支援の実施							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		5年度	4年度	差引(増減)	増減説明
	①	高齢者のICT利活用支援事業		450	450	0
	細事業合計		450	450	0	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	高齢・障害係
	松原 実千代	壺井 亜希子	神野 文恵

事業区課	栄区	高齢・障害課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	地域福祉保健推進費				
歳出予算科目	一般会計	3 款 2 項	1 目	枝番号	前年度事業名称	
事業名称	障害児・者ふれあい交流事業			政策番号	政策指標	施策番号 施策指標

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和5年度	1,385	0	0	0		1,385
令和4年度	1,405	0	0	0		1,405
増△減	△ 20	0	0	0	0	△ 20

歳出		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算	事業費	2,306	2,299	1,655	1,385	1,385	1,385
	市債+一般財源	2,306	2,299	1,655	1,385	1,385	1,385
決算	事業費	1,739	757	1,112			
	市債+一般財源	1,739	757	1,112			

事業概要	障害児・者が地域でいきいきと安心して暮らせるように、区民や関係機関との行事等を通して交流を図り、地域での障害理解を進めます。							
事業開始年度	平成7年度							
根拠法令・方針決裁等	障害者基本法、第4期横浜市障害者プラン、第4期栄区地域福祉保健計画							
運営方針等との関連	令和4年度栄区運営方針 施策2 みんなが支えあい・助けあい、安心を感じるまちづくり							
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性)	障害者が地域で安心して暮らせる環境が求められていますが、障害者に対する理解は十分とは言えないため、正しい理解を促進する啓発や地域との交流を促す必要があります。							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> ・栄区 身体障害者手帳 所持者数 (各年度3月末時点) 29年度3,390人、30年度3,391人、元年度3,445人、2年度3,450人、3年度3,454人 ・栄区 愛の手帳 (療育手帳) 所持者数 (各年度3月末時点) 29年度1,038人、30年度1,098人、元年度1,154人、2年度1,187人、3年度1,235人 ・栄区 精神障害者保健福祉手帳 所持者数 (各年度3月末時点) 29年度1,172人、30年度1,229人、元年度1,315人、2年度1,345人、3年度1,430人 							
事業指標	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
障害者週間に 障害理解の啓発に 取り組む区立支援 協議会関係機関参 加割合	単位	7	11	48	50	60	65	70
	%	7	11					
事業スケジュール	<p>平成29年度：「パラフェスタ♥さかえ」を、区内関係機関と協働で開催 令和元年度：「さかえ・ふれあい運動会」(平成7年度から実施)の終了。 「花のデリバリー」を、区内の1障害福祉事業所へ委託して実施。 令和2年度：運動会終了に伴い、「パラフェスタ♥さかえ」の内容を見直して実施を予定。 (新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、中止) 「花のデリバリー」は、区内の2障害福祉事業所に委託。 令和3年度：「花のデリバリー」は、区内の3障害福祉事業所に委託。 令和4年度：「パラフェスタ♥さかえ」の開催内容を見直して、実施。 区立支援協議会に働きかけ、令和4年度以降は、協力機関を順次増やしながら実施。</p>							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	5年度	4年度	差引(増減)	増減説明
	① パラフェスタ♥さかえ	845	845	0	0
	② 栄区障害理解推進事業	540	560	▲ 20	実績に基づく減
細事業合計		1,385	1,405	▲ 20	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	高齢・障害係
	松原 実千代	小幡 由美子	神野 文恵

事業区課	栄区	子ども家庭支援課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	子育て・子ども・青少年育成費	1	目	枝番号	前年度事業名称	
歳出予算科目	一般会計	3	款	2	項	1	目
事業名称	出産・子育て応援事業			政策番号		政策指標	
						施策番号	
						施策指標	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源	
令和5年度	1,991					1,991	
令和4年度	1,863					1,863	
増△減	128	0	0	0	0	128	

歳出	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費	1,761	1,890	1,968	1,991	1,991	1,991
市債+一般財源	1,761	1,890	1,968	1,991	1,991	1,991
事業費	1,496	1,516	1,665			
市債+一般財源	1,496	1,516	1,665			

事業概要	栄区で、安心して子どもを産み、育てていけるよう妊娠・出産・子育てに関する情報発信、及び仲間づくりの教室や相談事業を行います。							
事業開始年度	平成10年度							
根拠法令・方針決裁等	母子保健法、児童福祉法							
運営方針等との関連	令和4年度栄区運営方針 施策2 みんなが支えあい・助けあい、安心を感じるまちづくり							
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性)	栄区の出生数は平成24年には1,001人でしたが、令和3年には763人と減少傾向が続いています。本市で実施する調査でも、初めて子どもを授かる前に赤ちゃんの世話をした経験が4人に1人しかなく、安心して楽しく子育てができるようにするためには、妊娠期から出産・子育てに関するイメージを持てるように、正しく情報提供を行う必要があります。また、出生数の減少や共働き世帯の増加等の慢性的な社会構造の変化や感染症拡大等の影響で、養育者同士が交流する機会が減少しています。養育者同士が交流し、支え合う関係づくりを行なうことが必要です。産後の母親の悩みとして特に多い母乳育児や授乳方法について、あらゆる相談に応じられる機会を設け、育児不安の予防・早期解消を図ります。							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> 横浜市人口動態調査 栄区出生数763人（令和3年） 栄区民意調査（令和3年度実施）子育てについて、課題や不安となることは何か。子どものしつけ…19.2%、不安や悩みを気軽に相談できる相手がない…12.5%、自分が親になることへの漠然とした不安…10.0%、 横浜市子ども・子育て支援事業計画の策定に向けた利用ニーズ把握のための調査（平成30年度実施）子どもを迎えるまでに、赤ちゃんの世話をした経験があるか：ない75% 子育て支援に関する事業の認知と利用 …両親教室が90.1%、保健師・助産師の訪問が89.9%と高い。地域子育て支援拠点の認知度と利用状況…認知度は85.8%、知っている人のうち41.6%が利用している。 							
事業指標	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
子どものしつけに対する不安	単位	目標	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0
	%	実績	19.1	19.2				
不安や悩みを気軽に相談できる相手がないことが不安	単位	目標	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0
	%	実績	10.0	10.0				
自分が親になることへの漠然とした不安	単位	目標	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
	%	実績	13.3	13.9				
事業スケジュール	平成10年 事業開始 平成20年 産後うつ病予防のため「母子手帳しおり」の作成・配布 平成27年 父子手帳の作成・配布 平成31年 にこにこマップ作成・配布 令和2年 マイカレンダー作成・配布 令和5年 リーフレット各種をデジタル化予定							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		5年度	4年度	差引(増減)	増減説明
	①	養育者向け情報発信	866	900	▲ 34	電子カタログ化による紙媒体発行部数の減
	②	両親教室	252	224	28	助産師増員による増
	③	地域育児教室	753	619	134	育児応援教室の統合による増
	④	授乳相談	120	120	0	
細事業合計		1,991	1,863	128		

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	子ども家庭支援担当
	和田 哲弥	白井 翔太	白井 翔太

事業区課 栄区 こども家庭支援課 新規拡充 予算区分 自主企画事業費 歳出予算科目 一般会計 事業名称 育児サポート推進事業

(単位：千円)

財源内訳表: 区分、金額、国、県、諸収入、市債、一般財源

歳出表: 令和元年度、令和2年度、令和3年度、令和6年度、令和7年度、令和8年度

事業概要: 事業開始年度、根拠法令、運営方針、①背景・課題の分析、②事業目的・効果、根拠・データ等、事業指標、事業スケジュール

(単位：千円)

細事業(事業内訳)表: 細事業名称、5年度、4年度、差引(増減)、増減説明

本資料は、公正・適正に作成しました。 課長 和田 哲弥 係長 白井 翔太 こども家庭支援 係 白井 翔太

事業区課	栄区	子ども家庭支援課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	子育て・子ども・青少年育成費	1	目	枝番号	前年度事業名称	
歳出予算科目	一般会計	3	款	2	項	政策番号	政策指標
事業名称	子ども・青少年応援事業					施策番号	施策指標

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和5年度	1,058	0	0	0		1,058
令和4年度	1,058	0	0	0		1,058
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予 算	1,169	1,710	1,065	700	700	700
決 算	1,274	1,570	594	700	700	700

事業概要	乳幼児期から学齢期までの子どもの事故予防、けが予防を目的に、安全・安心に関する取組を推進します。また、スポーツ・文化の分野において、顕著な功績又は優秀な成績を収めた児童・生徒を対象に、その功績を称えることを目的として、区長による表彰を行います。								
事業開始年度	平成22年度								
根拠法令・方針決裁等	第4期栄区地域福祉保健計画 「さかえ・つながるプラン」区計画目標2、3								
運営方針等との関連	令和4年度栄区運営方針 施策2 みんなが支えあい・助けあい、安心を感じるまちづくり								
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性)	少子化により、地域や社会の担い手の減少、現役世代の負担増加などに加え、子ども同士や子育て中の保護者同士の交流の機会が減少するなど、子どもたちを取り巻く環境は大きく変容しています。そのような環境の中で、子どもたちが地域との関わりの中で豊かに健やかに成長するために、養育者・地域・学校・行政機関等が連携して、地域全体で子どもたちを育むことが重要となっています。また、自分たちの住む地域が安全で安心だと感じることも、とても大切です。安全・安心な地域の実現に向けて、養育者への啓発、子ども自身の危機察知能力の向上に向けた取組や情報発信を進めます。さらに、栄区在住、または栄区の小学校・中学校・高等学校に在学する児童生徒のスポーツ・文化活動等での顕著な成績を称えることにより、栄区内の子どもたちの一層の元気づくりや地域への愛着を育み、ひいては学校や子どもたちを取り巻く地域を盛り上げ、地域と学校の連携強化を目指します。								
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> ・栄区年少人口割合（0～15歳未満） 元年度：11.5% 2年度：11.4% 3年度：11.2% ・栄区小学校児童数 元年度：6,049人 2年度：5,938人 3年度：5,809人 ・栄区中学校児童数 元年度：3,152人 2年度：2,390人 3年度：3,056人 ・栄区の0～4歳児の救急搬送件数 元年度：87件 2年度：189件 3年度：263件 								
事業指標	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	
安全安心な地域と感じている子の割合	単位	目標	小：85.0 中：75.0	小：85.0 中：75.0	小：85.0 中：75.0	小：90.0 中：80.0	小：90.0 中：80.0	小：95.0 中：85.0	小：95.0 中：85.0
	%	実績	小：88.7 中：73.2	小：60.1 中：42.3					
事故予防の対策を知っている人の割合	単位	目標	各90.0	各90.0	各90.0	各99.0	各99.0	各99.0	各99.0
	%	実績	4か月児養育者：91.1 3歳児養育者：94.2	4か月児養育者：96.0 3歳児養育者：99.0					
事業スケジュール	平成25年度：栄区児童生徒スポーツ・文化活動表彰事業開始、セーフコミュニティ認証取得 平成30年度：セーフコミュニティ再認証取得 令和5年度：セーフコミュニティ認証期間満了								

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	5年度	4年度	差引(増減)	増減説明
	①	セーフコミュニティ子ども安全対策分科会及び関連事業	888	858	30
②	栄区児童生徒スポーツ・文化活動表彰事業	170	200	▲30	表彰基準見直しによる減
細事業合計		1,058	1,058	0	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	子ども家庭係
	富田 義徳	三石 枝里子	村田 悠理子

事業区課	栄区	子ども家庭支援課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	子育て・子ども・青少年育成費	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目	枝番号	前年度事業名称	
事業名称	幼保による地域子育て支援事業				政策番号	政策指標	施策番号 施策指標

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和5年度	3,343			4		3,339
令和4年度	715			5		710
増△減	2,628	0	0	△1	0	2,629

歳出	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算	641	762	655	3,343	3,343	3,343
市債+一般財源	641	762	655	3,343	3,343	3,343
決算	597	710	560			
市債+一般財源	597	710	560			

事業概要	保育・教育施設が持つ機能を生かし、園児を含めた地域の子育て支援を地域と共に推進します。							
事業開始年度	平成29年度							
根拠法令・方針決裁等	栄区防災計画、子ども・子育て支援事業計画							
運営方針等との関連	令和4年度栄区運営方針 施策2 みんなが支えあい・助けあい、安心を感じるまちづくり 施策3 防災力・減災力の強化							
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性)	<ul style="list-style-type: none"> ・保育・教育施設は、保育を必要とする家庭の子どもを預かる福祉施設です。子どもの成長を手助けし見守るとともに、子育て中の保護者を支え見守り手助けする役割を担っています。併せて地域の子育て支援も、保育・教育施設に求められている役割の一つです。今、小さい子どもに触れる機会のないまま親になり、子育てに不安や悩みを抱える親が増えていることから、地域が連携して子育てを支援することが不可欠であり、施設の機能を十分に生かす必要があります。 ・保育士の知識習得のため、多くの自然に恵まれた栄区で自然体験研修を実施し、「保育の質の向上」を図ります。日々の保育や地域子育て支援に生かし、子ども達の自然を大切に意識の醸成につなげます。 ・保育・教育施設利用者向けに防災ポケットカードを作成・配付し、保護者に日頃からの備えや防災・減災への意識を高めていただくとともに、子ども自身が防災への意識を持てるよう促します。 ・市立保育所における地域に出向いた子育て支援や世代間交流の充実を図ることで、地域全体で連携しながら地域の子育てを支えています。 ・保育所の園庭開放や育児相談など地域子育て支援としての役割をPRすることで、親子の交流の場としての保育所の利用につなげます。 							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> ・第4期栄区地域福祉保健計画 さかえ・つながるプラン ・緑被率38.8% (市内2番目・令和元年度) ・区内保育・教育施設 園児数3,250名 (令和4年4月1日) 							
事業指標	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
研修 延べ参加者数 (※4年度以降 防災研修含む)	単位	目標	20	20	70	70	70	70
	人	実績	12	43				
地域子育て支援の 延べ参加者数	単位	目標	—	—	1,500	1,600	1,600	1,600
	人	実績	743	1,489				
事業スケジュール	①スキルアップ研修 平成29年度栄区の自然特性を生かし「自然体験研修」を開始(7月・11月) 令和4年度「防災研修」開始 ②地域子育て支援 平成30年度「防災ポケットカード」を保育・教育施設利用者等に配布 令和5年度「デジタルを活用した情報発信」を強化し、動画等を作成し、SNSやホームページを通じた情報提供を強化							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	5年度	4年度	差引(増減)	増減説明
	①	栄区の特長(自然豊か)を活かした職員向けスキルアップ研修	90	135	▲45
②	地域子育て支援事業	3,253	580	2,673	新規事業(SNS用デジタルコンテンツ作成)による増
細事業合計		3,343	715	2,628	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	桂台保育園
	富田 義徳	山崎 穂奈美	山崎 穂奈美

事業区課	栄区	生活支援課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	地域福祉保健推進費	1	目	枝番号	前年度事業名称	
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項				
事業名称	生活支援推進事業			政策番号	政策指標	施策番号	施策指標

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源	
令和5年度	200	0	0	0		200	
令和4年度	377	0	0	0		377	
増△減	△ 177	0	0	0	0	△ 177	

歳出		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算	事業費	881	634	477	200	200	200
	市債+一般財源	881	634	477	200	200	200
決算	事業費	493	419	441			
	市債+一般財源	493	419	441			

事業概要	生活保護受給者や生活困窮者の社会的自立を促進していくために、再チャレンジ応援事業を実施します。							
事業開始年度	平成28年度							
根拠法令・方針決裁等	生活保護法第4条、及び第60条 就労支援可能な被保護者の就労及び求職状況の把握について（厚生労働省社会・援護局長通知）、「福祉から就労」支援事業の実施について（厚労省雇用均等・児童家庭・社会・援護局長連名通知）、平成17年度における自立支援プログラムの基本方針について（厚労省社会・援護対策局長）							
運営方針等との関連	令和4年度栄区運営方針 施策2 みんなが支えあい・助けあい、安心を感じるまちづくり 栄区地域福祉保健計画（第4期）取組の視点1-3 地域で自分らしく暮らす							
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性)	生活保護受給者や生活困窮者の多くは、就職に向けての情報がない・準備の仕方が分からない・面接のノウハウがないなど様々な課題を抱えています。就労意欲を高めるとともに就職に向けての就職事情を把握し、心構えや履歴書の書き方、面接スキル等を習得していく必要があり、対象者のニーズに対応した手法を検討する必要があります。							
根拠・データ等	生活保護就労支援プログラム登載者数 令和元年度 127名 令和2年度 126名 令和3年度 141名 ジョブスポット利用者のうち、生活困窮者自立支援事業利用者数 令和元年度 43名 令和2年度 84名 令和3年度 119名 ジョブスポット利用者のうち就職者数（生活保護・困窮者自立支援事業 合計） 令和元年度 76名 令和2年度 84名 令和3年度 113名							
事業指標	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
就労者数	単位	目標	90	120	120	120	120	120
	人	実績	84	113				
事業スケジュール	平成29年度 アウトリーチパートナー研修開始（1回実施 延べ34人参加） 令和2年度 アウトリーチパートナー研修（3回実施 52名参加） 令和3年度 アウトリーチパートナー研修予定（2回実施 40名） 就労支援テキスト作成（150部作成・配布） 令和4年度 アウトリーチパートナー研修予定（3回実施 60名） 就労支援テキスト増刷（150部増刷・配布） 令和5年度 アウトリーチパートナー研修の見直し（研修講師を職員が対応、ネットワーク構築支援事業（区配）へ統合） 就労支援テキストの増刷等（150部増刷・配布予定）							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		5年度	4年度	差引(増減)	増減説明
	①	再チャレンジ応援事業	200	200	0	
	②	生活困窮セーフティネット強化事業	0	177	▲ 177	研修講師の直営化による事業終了のため
細事業合計			200	377	▲ 177	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	生活支援係
	佐藤 紀幸	荒井 統太	荒井 統太